



車載ソフトウェア開発 の新時代創出へ

SDV Acceleratorによる 開発加速化への 新たなアプローチ

2025年10月
HERE Technologies



はじめに



山下 順司

HERE Japan株式会社
プロダクトポートフォリオ
オマネージメント ディレ
クター



橘 幸彦

アマゾン ウェブ サービス
ジャパン合同会社
AWS Industries Automotive &
Manufacturing
Senior Partner Sales Manager

HERE Technologiesとは？

HEREは、地図と位置情報テクノロジーのグローバルリーダーです。自動車業界をはじめ、さまざまな分野でスケールのある製品とソリューションを提供しています。

40 years

40年の実績。位置情報
テクノロジーのパイオニア。

3.5k+

3,500件超の特許で業界をけん引

44m+

4,400万台以上の車両がリアルタイムの
プローブ&センサーデータを提供し、**HERE**
の地図と位置情報サービスの生成・更新に
活用されています。

222m+

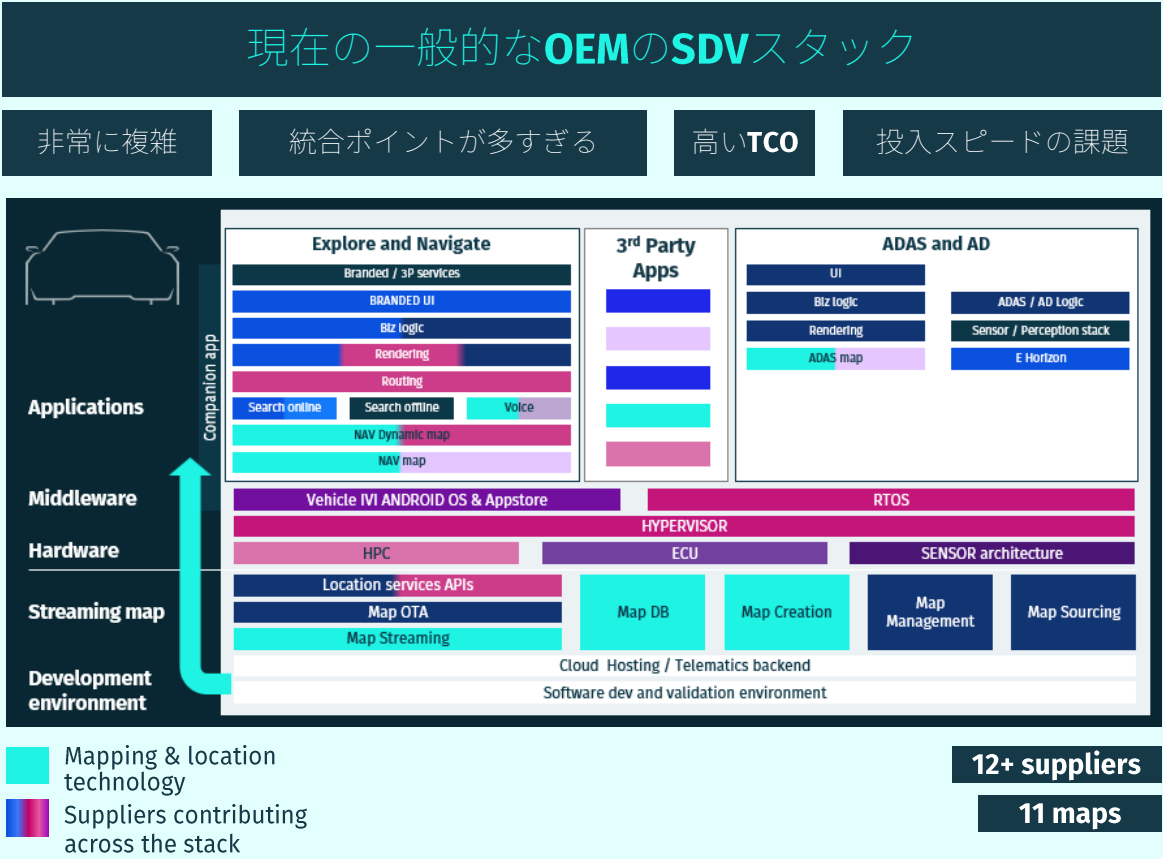
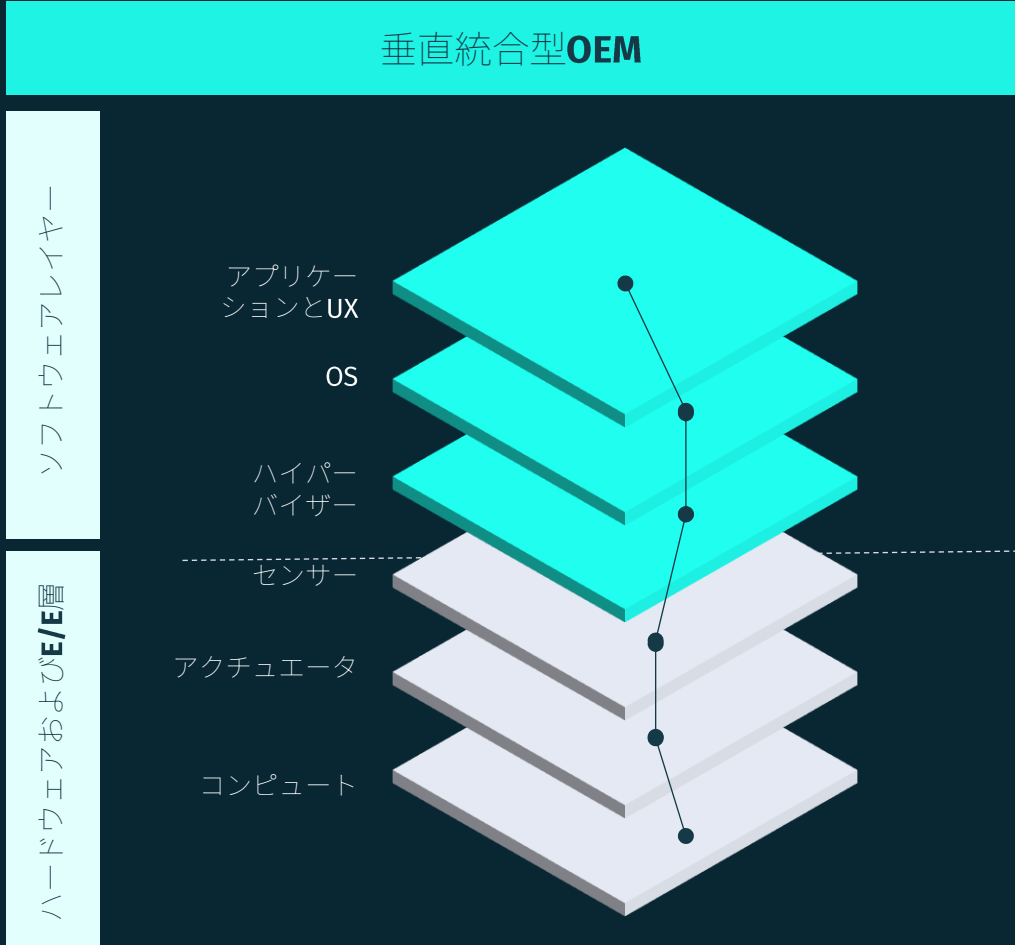
HEREの位置情報技術を搭載した車両、
世界で2億台超。

業界が直面する転換点:
なぜ今、変革が
求められるのか



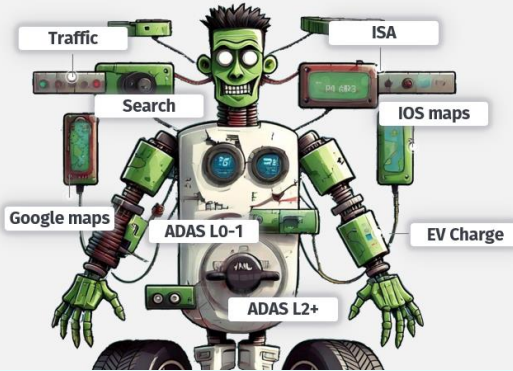
設計は垂直、運用はアジャイル

短期投入・コスト削減・イノベーション加速



課題に向き合う時が来ています

OEMは迅速かつスケラブルな革新・差別化に苦戦中



高コスト
複雑化と高コストを招く
統合不全スタック



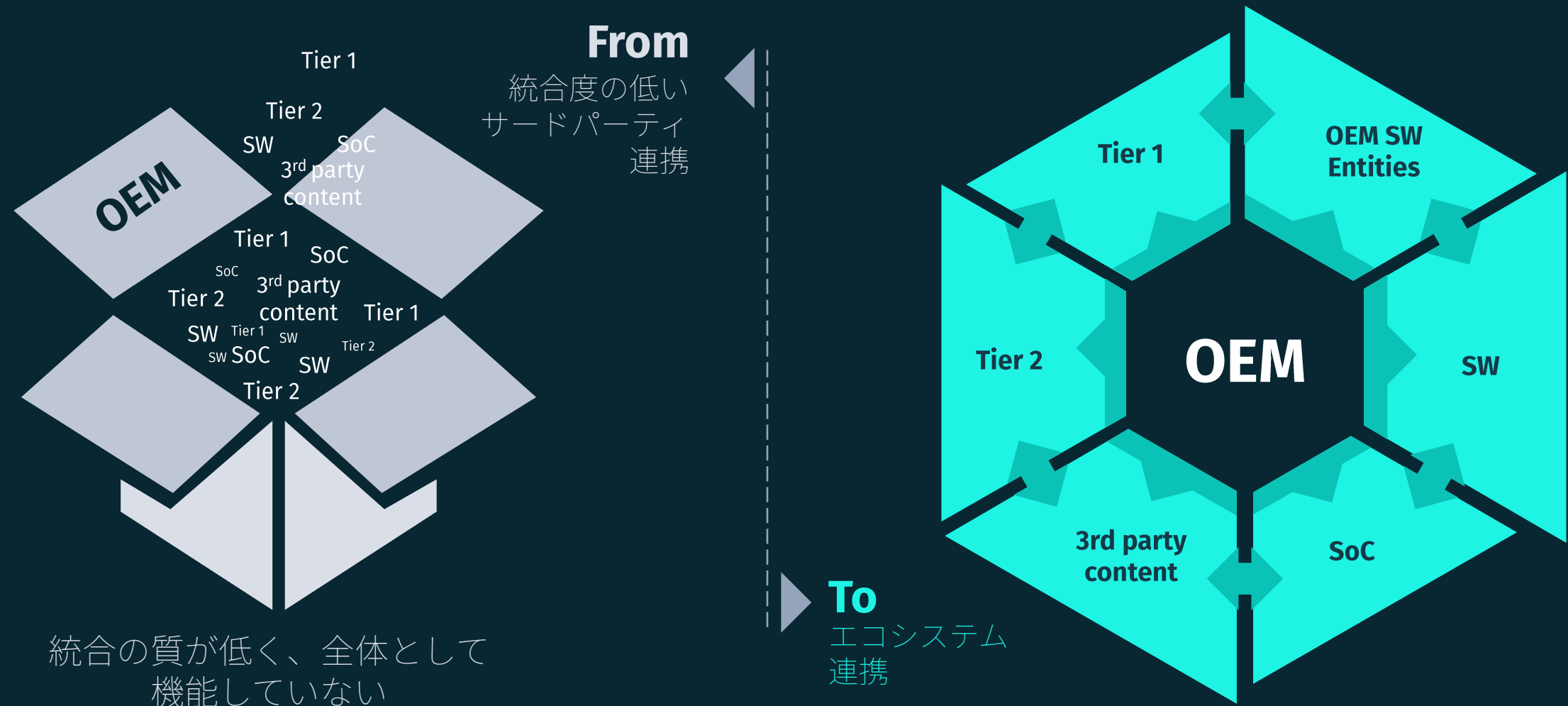
分かりにくい
統合性に欠けた、混乱を招く
ユーザー体験



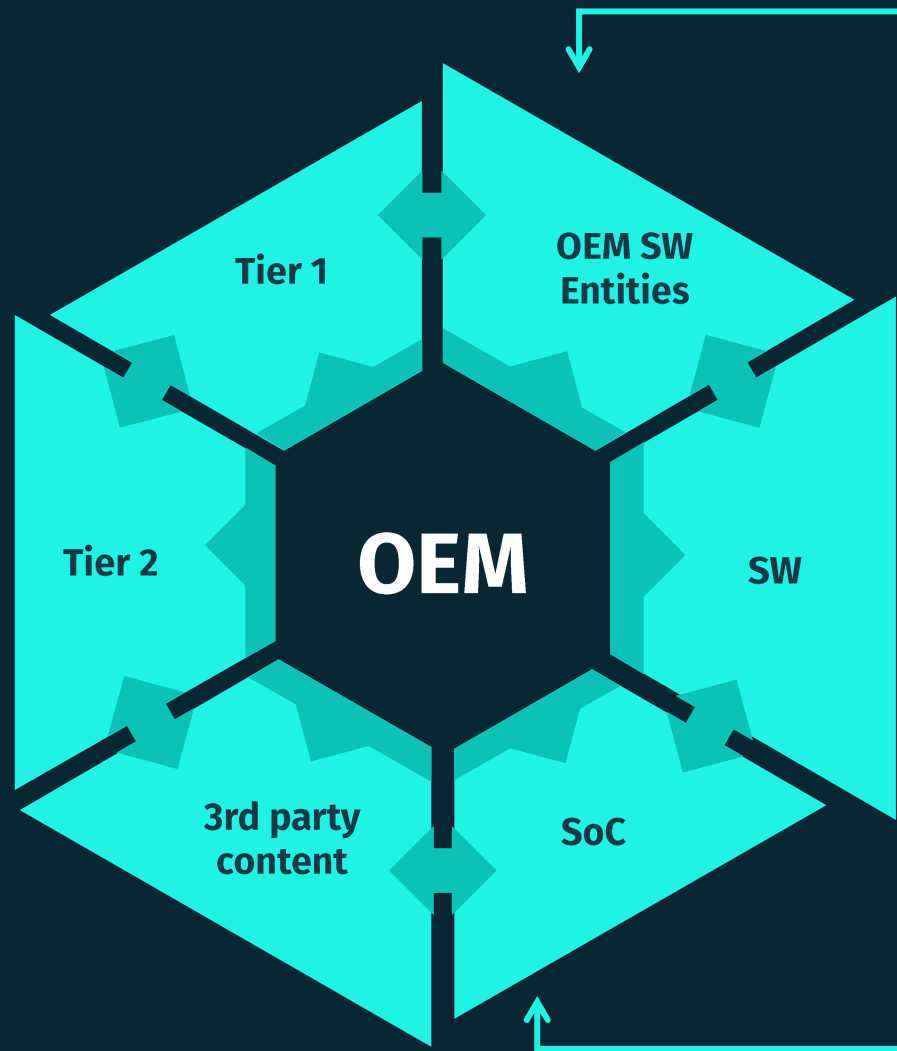
遅い
ソフトウェア主導のOEMが競争水準を加速的に
引き上げている

垂直統合を進める**OEM**が市場で優位に

垂直統合がなされていない場合、SDVの発展には他社との協業が不可欠



理想的なエコシステム連携とは？



- 01 データの共有
- 02 ソリューションを共創する
- 03 統合済みのソフトウェア
- 04 柔軟なカスタマイズと機能拡張
- 05 トレーニングとシミュレーション
- 06 エコシステム連携型ビジネスモデル

実現するには:

- ☒ ブランドによる差別化
- ☒ アジリティ
- ☒ **TCO**の削減
- ☒ 迅速なイノベーション
- ☒ 市場投入の迅速化
- ☒ 新規収益モデルの創出

仮想化開発とは？

技術パートナーが提供する事前に統合されたソリューションを備えた仮想環境により、**OEM**は、量産開始前から**SDV**のライフサイクル全体にわたって、設計・開発・テスト・検証を行うことができます。

No hardware, no limits

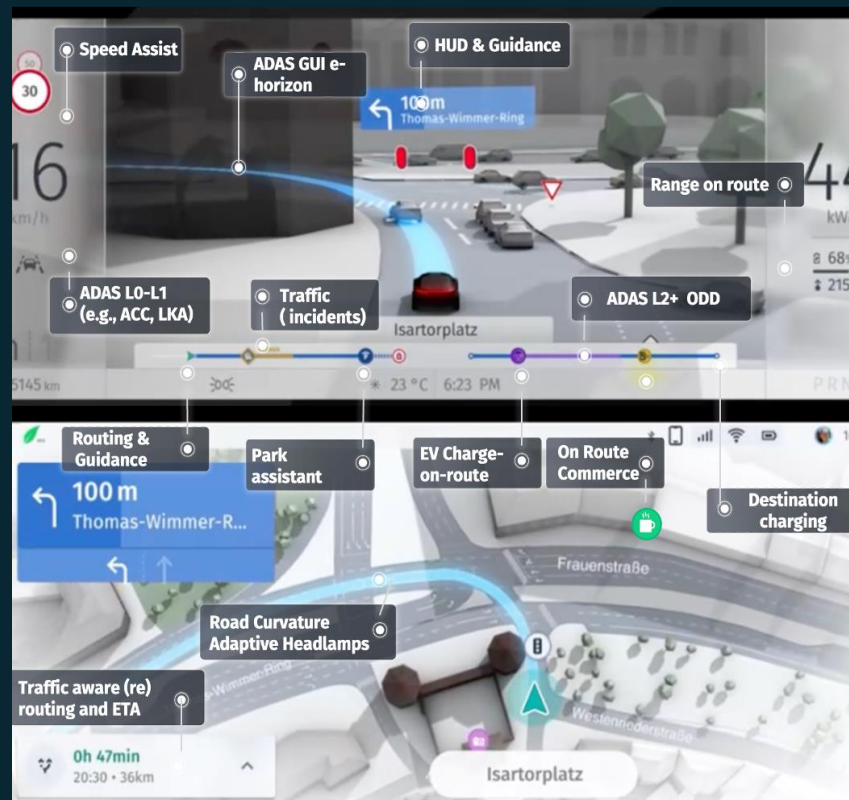


地図は、モビリティ体験の核となる存在です

地図は、現実世界を理解するための集合知の結晶です

IVIとデジタルキャビン

- モビリティのつながりを可視化
- 新しい場所との出会いと冒険
- スムーズでスマートな移動体験



ナビと自動運転を支える統合型マップ

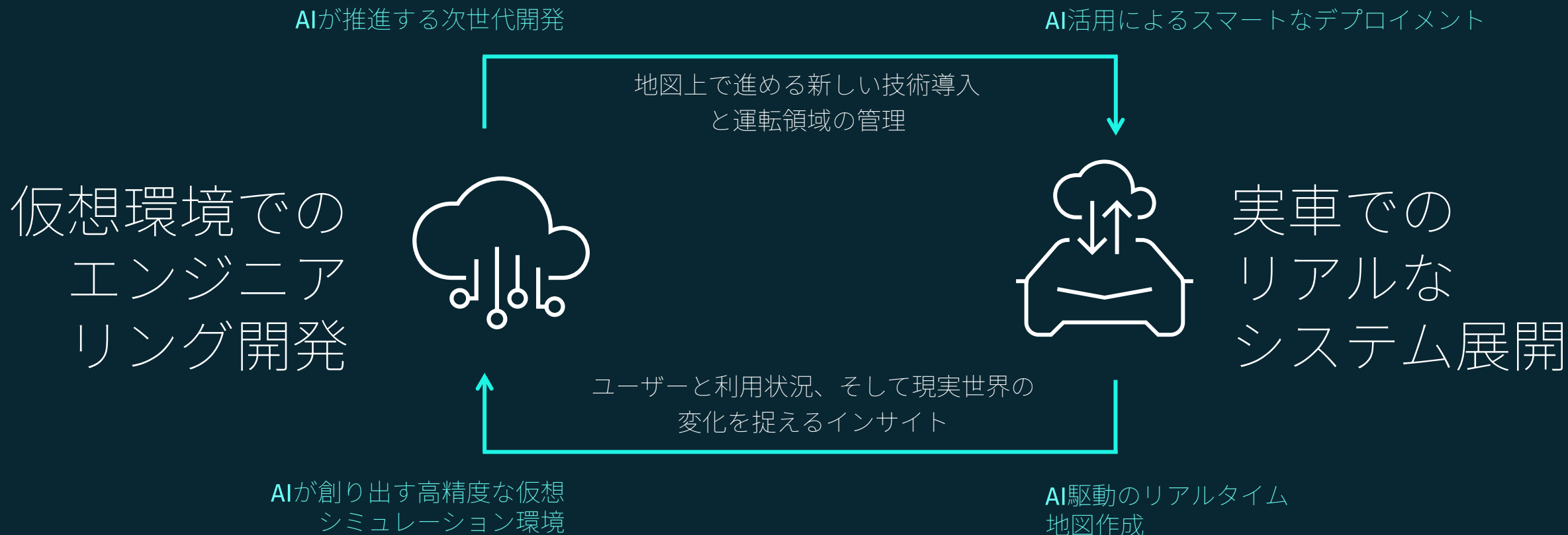
運転支援および自動運転

- 交通イベントをリアルタイムで把握
- 安全かつ効率的なルートと動作の計画
- センサーの先を見通す知能
- 見えない世界をデジタルで捉える
- ODDを動的に管理し、運転領域を最適化

地図は、すべての検証を支える信頼の基盤

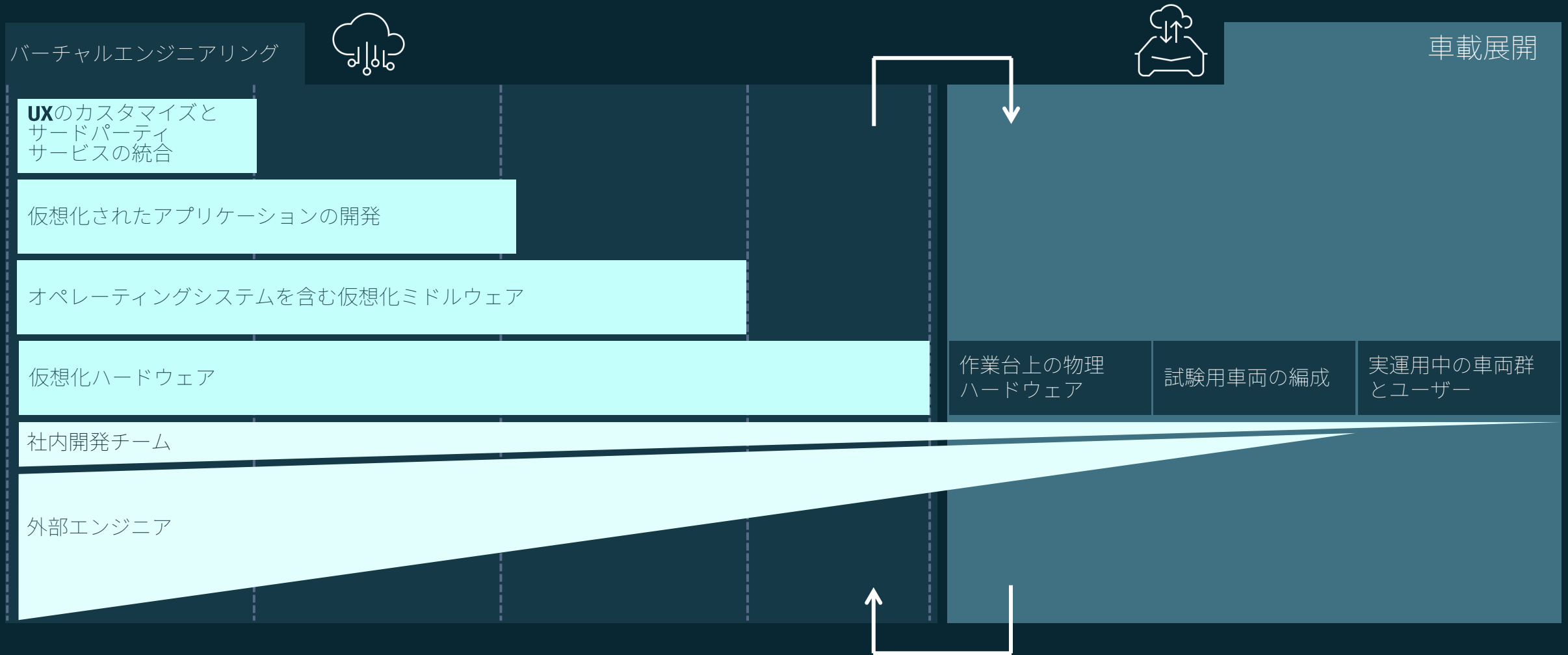
地図と位置情報が支える、クラウドとクライアントのシームレスな連携

地図：現実世界を捉える 信頼のソース



SDV開発を全工程で仮想化

限界なき拡張性が支える、イノベーションの爆発力



SDV Accelerator Initiative、始動

AWSクラウドサービスとHEREのマッピング
および位置情報技術によって提供されています



SoCやAIプレイヤーなど、新規参入が進行中

SDV時代を牽引する仮想コラボレーション

統合作業から解放し、**OEM**のイノベーションと差別化を加速



迅速な開発と統合
を実現

物理統合中の不確実性を減らし、ハードウェアとソフトウェアの並行開発で継続的インテグレーションを強化



コストと開発期間
の短縮

仮想化により、複数の構成を低コストで検証し、バグを早期発見。本番での高額なトラブルを回避



システム全体の
シミュレーション
と検証の活用

パートナーのシステム間での複雑な相互作用をテストし、全スタックでのシミュレーションを可能に

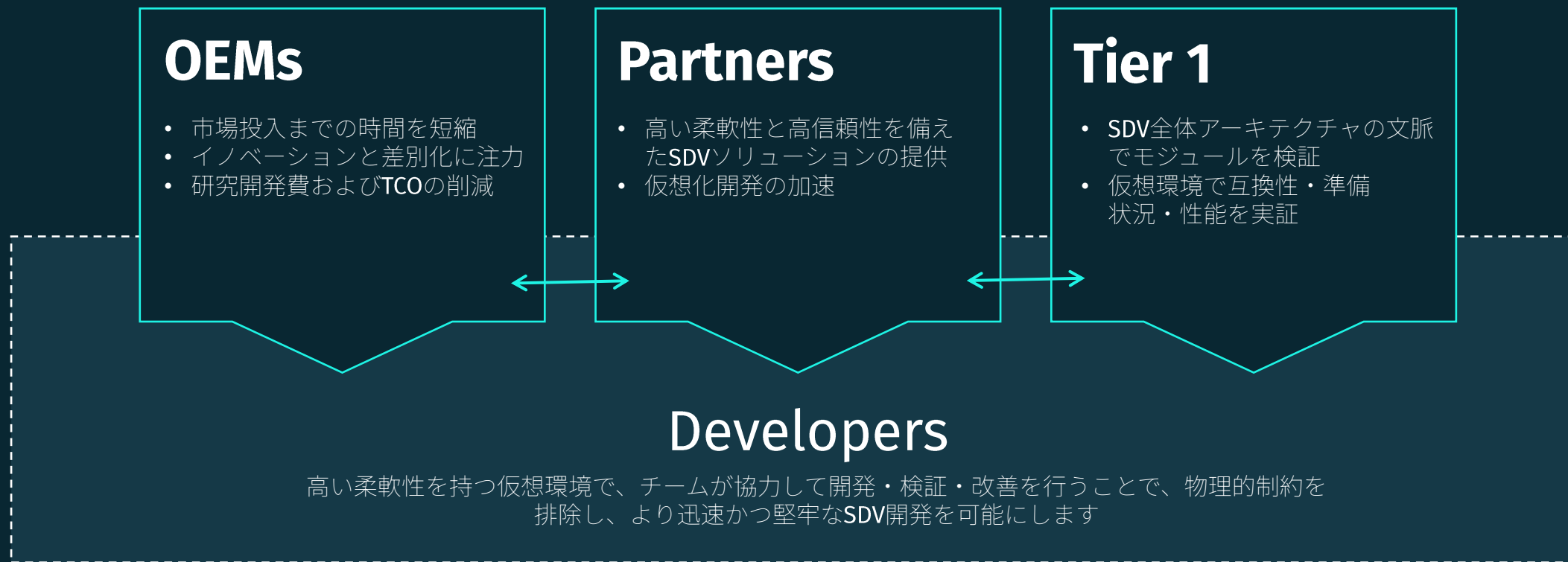


あらゆる車両プロ
グラムに対応可能
な拡張性

プラットフォーム間で仮想環境を再利用し、ボタン一つで多様な車両構成のシミュレーションを可能に

真のコラボレーションモデルが実現

自動車体験の進化に向けて、SDV開発とイノベーションを加速



開発チームの創造力を最大限に引き出し、
革新的な体験を通じて顧客満足を高めます

未来への明確な道筋と大胆な挑戦

未来への道は、コネクショで形づくられ、仮想化されたエコシステムがその力となる

1

仮想化が**SDV**エコシステム全体のコラボレーションを加速

OEMに対して、事前統合された高品質で革新的なソリューションへの前例のないアクセスを提供

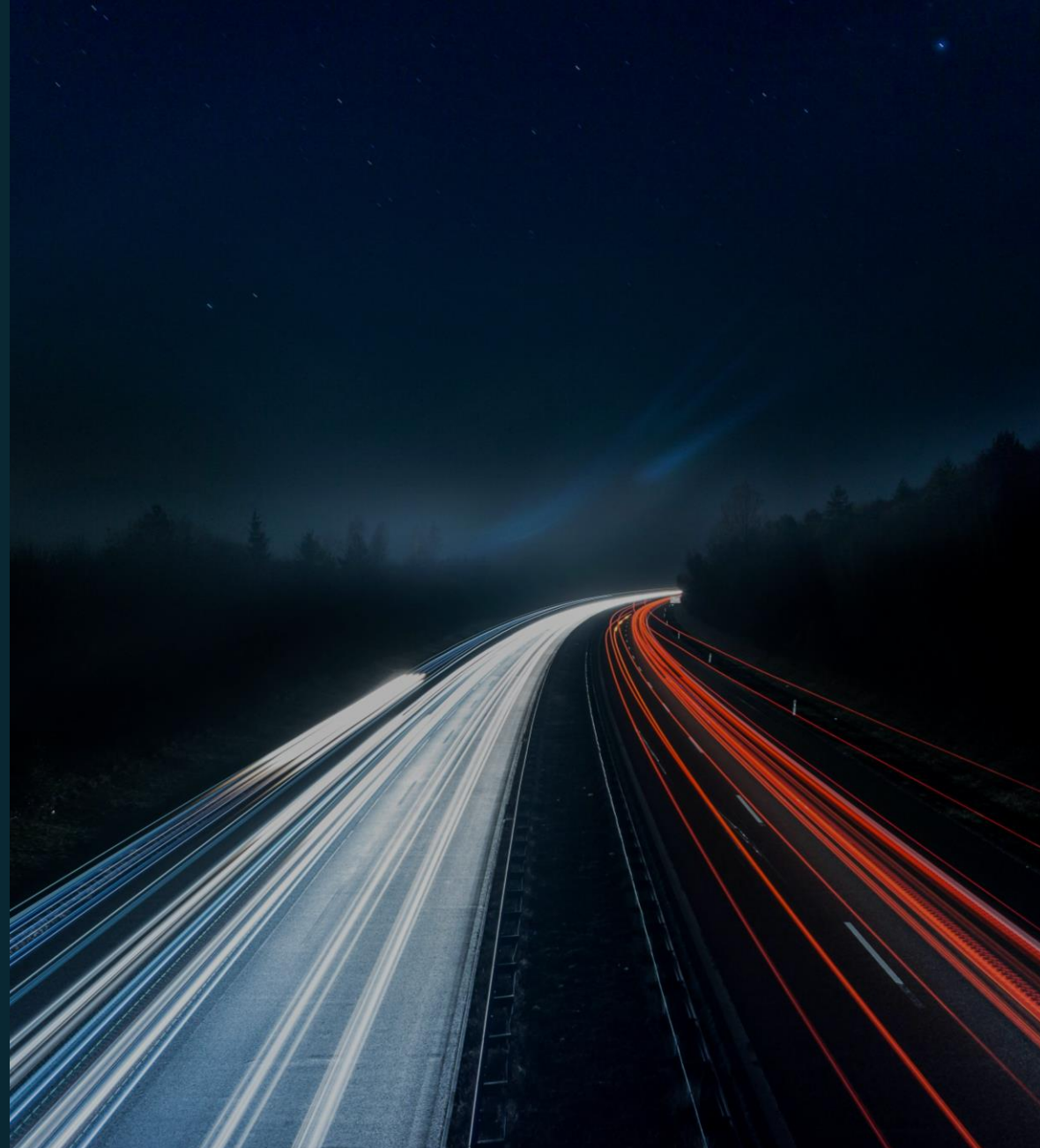
2

地図は自動車体験の中心にある

常に更新される**AI**ライブマップは、仮想化された開発環境における信頼できる最新の基盤情報として機能します

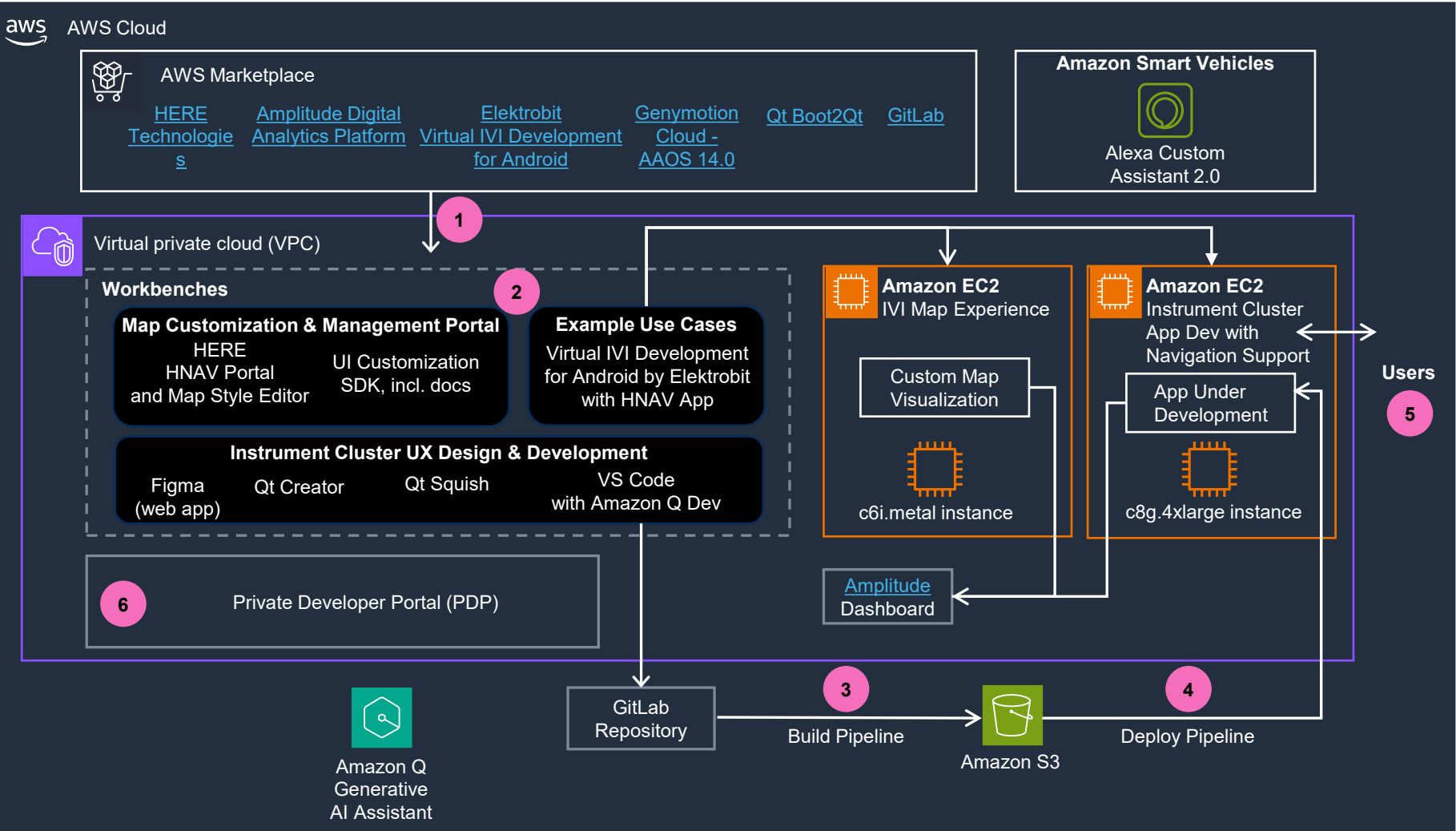
3

私たちと一緒に、新たな一步を踏み出しませんか？
Join us!



SDV Accelerator のリファレンス アーキテクチャ

車載ソフトウェア開発を加速



- 1 **AWS Marketplace** からパートナーが提供するサービス（開発ツールや仮想ターゲット）にアクセス。トライアルや評価版へのアクセスも含まれており、本格的な導入前に、簡単に評価とテストを実行。
- 2 Workbench を使用して車載ソフトウェアを構築するために **Amazon Elastic Compute Cloud (Amazon EC2)** インスタンスで実行されるパートナーの事前統合ソリューションを実装した SDV Accelerator 上の仮想化環境で開発を推進。
- 3 事前に統合されたビルド パイプラインを使用して継続的な統合とデプロイメントを活用し、ソフトウェア開発ワークフローを加速
- 4 実ハードウェアに近い仮想環境でソフトウェアアプリケーションを設計、構築、テスト、検証
- 5 **SDV Accelerator** でソフトウェア開発サイクルを加速し、車載ソリューションの市場投入までの時間を短縮
- 6 **Backstage.io** に基づくプライベート開発者ポータルを活用



Search

- Home
- Docs
- Create...
- APIs
- Marketplace
- Catalog
- My Dev Tools

Settings

Tokyo09:23 PM

Mumbai05:53 PM

London01:23 PM

New York08:23 AM

Los Angeles05:23 AM

Welcome to AWS Virtual Engineering Workbench!

Virtual Engineering Workbench Demo

Accelerate automotive software development

Search

Clear

Top Visited

There are no visits to show yet.
Once you start using Backstage, your visits will appear here as a quick link to carry on where you left off.

Recently Visited

There are no visits to show yet.
Once you start using Backstage, your visits will appear here as a quick link to carry on where you left off.

Your Starred Entities

Click the star beside an entity name to add it to this list!

Thank you